あまにゅう

青森県青年海外協力協会（AOCA）広報誌
平成22年9月号（2010.9）
発行:　青森県青年海外協力協会
編集担当: 大賀重樹（5－1ホンジュラス）

国際協力写真展を開催

会長　　大賀重樹（H5－1 ホンジュラス共和国 小学校教諭）

一昨年より、県内各地でＪＩＣＡボランティアの国際協力写真展を開催してきました。県内では、青森市で２回、弘前市で１回開催しました。県内出身のＪＩＣＡボランティアも400名を超え、県内各地で活躍していますが、派遣時の活動の様子について、なかなか報告するチャンスがないのが実状です。写真展の開催を通して、一人でも多くの方々にお知らせすることができればと考えています。

今年度も以下の予定で開催します。ぜひ足を運んで頂ければと思います。

日時&場所：**11月13・14日 10:00～17:00　　イオン下田イオンホール**
11月20・21日 10:00～17:00　　イオンつがる柏イオンホール

内　　容：①青年海外協力隊員やＪＩＣＡ専門家の活動写真展示
②青年海外協力隊員ＯＢＯＧによる帰国報告
③世界各国の民芸品や楽器の展示
④各国の民族衣装展示と試着体験
⑤世界のお菓子・ジュースの試食や試飲　　等々

問い合わせ先：ＪＩＣＡ青森デスクまで　　０１７－７３５－２２４９

青年海外協力協会広報誌「あまにゅう」

は、主に青森県出身の青年海外協力隊の参加経験者からなる団体の広報誌です。この広報誌を発行することを通して、県内在住のＯＢ・ＯＧの情報交換をするほか、私たちの活動に興味のある方々に私たちの活動についての理解を求めるとともに、国際協力・国際理解の輪を広げることを目的として発行します。

「あまにゅう」の由来

「あまにゅう」は八甲田をはじめとした、高山にあり、きれいな白い花をさかせる植物です。普段は人知れず咲いているのですが、一旦山に登ると大きくてはっきりと確認できる植物です。青森に住んで、世界のことを考えながら決して途上国への情熱を忘れない、そんな協力隊経験者と通じるところがあるようで、機関誌を作ったときにその名前を採用されました。
なお、名付け親は川村宏義氏「あまにゅう」の初代編集者です。

今年二月に青森アスパムで開催した写真展の様子

↑青森県から世界への派遣実績を掲示

↑質問にはＯＢが答えました

↓シリア隊員の活動紹介もしました

１４名の隊員の活動をＤＶＤで上映し、紹介しました。

↓写真パネルや説明も充実させました

２１年度４次隊壮行会

３月１８日（木）県庁に蝦名副知事を表敬し、出発前の決意や任国での活動内容について説明しました。同日夜には、新隊員２名と AOCA のメンバー８名と地球色の日焼け青森応援団２名の１２名で壮行会も行いました。任国で元気に活躍して下さい。メールも待っています！！

青年海外協力隊員　小田桐光佑隊員
副知事の左側（カメルーン、幼児教育、平川市）
シニア海外ボランティア　小鹿田恵彦シニア
副知事の右側（ウガンダ、自動車整備、青森市）

↓県庁に蝦名副知事を表敬しました

留守家族連絡会の開催決定

ＪＯＣＶ派遣の留守家族を招いての留守家族連各会を数年ぶりに以下の予定で開催します。派遣中の隊員の家族にとっては、隊員の安否はもちろん関心事ではありますが、近年は、携帯電話やメールなどで、以前に比べると格段に連絡等がとれるようになりました。

反対に、帰国後の進路が最大の関心事となっているのが現状です。最近帰国した隊員の就職状況や進学状況、その後の人生設計などについて、県内在住の隊員ＯＢＯＧが説明します。合わせて、以下の内容を計画しています。

日時&場所：1 回目　11 月 14 日（日）13：00～16：00
イオン下田２階イオンホール
2 回目　11 月 21 日（日）13：00～16：00
イオンつがる柏２階イオンホール

内容：①ＯＢＯＧの活動報告と近況報告
②JICA・JOCA からの派遣状況報告
③ＡＯＣＡからの進路状況報告
④育てる会からの諸連絡　　等

当日は、イオンホールにて国際協力パネル展を開催していますので、ぜひごらんください。

平成２２年度１次隊　　史上最多　　９名が出発

6 月 14 日に県庁表敬及び壮行会をしました。本当にパワフルな 9 人でした。元気に活動して下さい。

鎗田俊輔隊員（トンガ　植林・青森市）
松田朋恵隊員（フィリピン　村落開発普及員・八戸市）
河井かおり隊員（エクアドル　養護・むつ市）
大久保歩隊員（パラグアイ　作業療法士・八戸市）
松橋明裕子隊員（マダガスカル　看護師・十和田市）
米谷真知子隊員（ヨルダン　体育・弘前市）
磯邊千春隊員（カンボジア　小学校教諭・八戸市）
小枝みどり隊員（インドネシア　栄養士・弘前市）
小田桐寛和隊員（モンゴル　工作機械・弘前市）

昼は、県庁へ蝦名服知事を表敬

夜の壮行会は、20 名を超える大盛会。ＯＢＯＧも元気をもらいました

うれしいことに、平成 22 年度１次隊は、青森県史上最多、９名が青年海外協力隊員として派遣されました。県内各地から多彩な顔ぶれが集まりました。人数が多いだけでなく、一人一人が本当に元気でバイタリティーに溢れていました。副知事からは、みんなが元気に戻ってきて、青森を更に元気にしてほしいとのお話がありました。夕方からの壮行会には、隊員ＯＢＯＧの他、県庁のの国際交流推進課からも出席して下さり、みんなで隊員を送り出すことができました。任国での活躍が楽しみです。

海外派遣中の協力隊員の皆さんからのメール紹介

W杯出場①　パラグアイより

パラグアイに着き、1 週間にありました。パラグアイは今、サッカーワールドカップでとても賑わっています。今日は、日パ戦が行われたため、午前 10 時前から語学学校の先生方と一緒にテレビの前で観戦しました。通りには人がほとんど見当たらず、いつも満員のバスも今日は誰も乗っていない状況で、国民は皆観戦ムードでした。パラグアイが勝ち、試合が終わると、通りを車がクラクションを鳴らして走り、のろしが何度も打ち上げられてお祭りのようです。飲酒運転が多いのでとても危険だそうです。まだ、言葉がわからず思うようにコミュニケーションが取れていませんが、少しずつパラグアイのことを知っていきたいと思います。写真は語学訓練を受けている都市、イタクア市の写真です。

6.30（22 年度1次隊　パラグアイ　　作業療法士　大久保歩）

W杯出場②　カメルーンより

ご無沙汰しております！任地に着いて一ヶ月。ついた当初にネット契約したんですが、今日やっと自宅にモデムが届きました。やっぱり時間の進み方が私たちの感覚とはちがうんだなーと。思いながらも、頭にきたので毎日のように電話会社に抗議に行っていました。通じているのか通じてないのか、わかりませんが一応話す練習になったのでプラスに捉えようと思います。任地一ヶ月で市の幼稚園に挨拶周りをしてるうちに、ほとんど活動といえる活動もできないままこちらは来週から二ヶ月の夏休みです。二ヶ月しっかり語学と体力つくりと教材つくりして新学期からがんばります。カメルーンにも22－1次隊がこれまでの最多の7人来るようです。6月14日はＷ杯　カメルーン戦ですね！さすがに外に出るのは怖いので、家で応援します！

6.12（21－4　カメルーン　幼稚園教諭　　小田切光佑隊員）

いつも便りをありがとう。青森の夏は、史上最高に暑い夏でした。元気に活動して下さい！！

ラミネートカードが大好評　八甲田港フェスタ

暑い夏の二日間、７月１８・１９日に八甲田港フェスタに今年も参加しました。大賀ＯＢのエルグランド号に写真やクイズをはり付けて参加者に解いてもらったり、ＯＢＯＧのみなさんから寄付して頂いた各国のお土産を売ったり、ヨーヨーの店を出したりしました。また、クイズ参加者には、越善ＯＢ手作りのカード（右の写真）を配ったところ、大好評で、カンボジアのアンコールワットのラミネートカードはあっと言う間になくなりました。　二日間とも晴天に恵まれ、延べ６００人以上の方が我々のブースに訪れました。お手伝いのＯＢＯＧのみなさん、本当にお疲れさまでした。しっかり日焼けしました！

大人気のラミネートカード　→

恒例となった八甲田港フェスタ。来年もブースを出すので、ぜひご来場下さい。お待ちしています。

2次試験対策勉強会　　祈合格　→　祝合格

７月3日にJOCV（青年海外協力隊）の2次試験対策勉強会を開催したところ、飛び入り参加もふくめ、7名の方が参加されました。帰国間もない袴田OG・土岐OGにも模擬試験官として参加してもらい、大変内容のある勉強会となりました。8 月に入り、3 名の方から合格の嬉しい知らせが入り、ほかにも１名は条件つき合格となりました。おめでとうございます！！

「お久しぶりです。先日は、2次試験対策ありがとうございました。2次試験の報告をさせていただきます。おかげさまで、合格しました。派遣国はホンジュラスで職種は、小学校教諭です。23年度1次隊です。」

「先日模擬面接を受けた者です。本日、合否の通知が届きましたので、報告させて頂きます。結果は、合格でした。村落開発普及員として、チリに派遣となりました。自分の能力を精一杯発揮し、2 年間頑張ってきます。」

「先日は模擬面接にてお力添え頂きありがとうございました。おかげさまで本日、合格の通知が届きました。大変ありがたく思っています。之もひとえに模擬面接でのご助力のおかげと、心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。（ミクロネシア村落開発普及員）」

出前講座報告（川村彩子OG　ブルキナファソ　稲作）

■6 月 22 日に総合学校教育センターで行われている教員対象の講座「国際理解教育講座」で講師をしてきました。**ダブル川村（川村宏義 OB と私）で行いました。**以前「地球生活体験ブロックリーダー研修会」で行った水のワークショップを紹介しました。ワークショップはどうやって作られたか、協力隊経験者と興味ある教員と一緒に議論することでいいものが作れる、ぜひ JICA 経験者を活用して下さいというような話をしました。今後もこの講座の中でいろいろと関わっていく予定です。

■6 月 30 日にＪＩＣＡデスクの越善さんと田名部高校に出前講座に行ってきました。英語科の 1～3 年生 120 人を対象に行いました。**テーマは「世界と日本のつながりについて考えよう！！」。**まずはブルキナファソ・カンボジア○×クイズから始めました。元気な高校生たちで盛り上がりました。その後ブルキナファソ・カンボジアの現状を紹介し、それから日本とブルキナファソを含むアフリカとのつながり、日本とカンボジアとのつながりについて話しました。**ユニクロにはカンボジア製のパンツ（カラージーンズ）が販売されている！！ユニバースにはアフリカモーリタニア産のたこが売っていた！！日清のインスタントラーメンに使われているゴマはブルキナファソからきている！！**など自給率 40%以下の日本は食料だけじゃなくていろいろなもので世界とつながっている、**世界は一つなんだよね**という話をしました。

世界と日本のつながりの話をする前に、**そもそも日本はなぜ援助をするのか、少し高校生に考えてもらいました。**1 年生のある生徒は「かわいそうだから」と答えました。とてもきれいな目をしたやさしそうな男の子でした。3 年生のある生徒は、んーと考えてから**「責任があるから」**と答えました。まさしく今日私たちが伝えたかったことだったので、こんな考えをもっている高校生がいることに驚きました。日本は様々なところでたくさんの国にお世話になっているから何かお手伝いをする責任があると私も思います。出前講座に行くと自分が話すだけでなく、生徒達と様々な会話をすることで学ばされることがたくさんあります。皆さんもぜひ出前講座体験してみて下さい。

五所川原立佞武多に３年連続参加

8 月7日（土）に今年も参加しました。帰国間もない土岐OGの他、八戸から木下OG等 24 名が参加しました。絶好の天気に恵まれ、一段と暑かった夏の夜を練り歩きました。立佞武多の大きさと重さを実感できます。今回は、沿道を歩きながら、AOCAの活動紹介ティッシュを子どもたちが配りました。

主担当　藤村俊作OBより（50－4　マラウイ　測量）

立佞武多参加の皆様、立佞武多の曳き手お疲れさまでした。人数が少なかったので、皆さんに頑張ってもらいました。おかげさまで事故もなく楽しい立佞武多になりました。初めて参加の方には、立佞武多のスケールと迫力に十分ご満足いただけたと思います。祭り案内放送でAOCAの紹介をしていただき、感謝です。これを機会に立佞武多の宣伝をしていただければ幸いです。

今月以降の主な予定と情報

９月２５日（土）	生涯学習フェアにブース参加（青森県社会教育センター）
	撤収後 16：00 より写真展の第２回実行委員会（水産ビル）
１０月　２日（土）	秋募集説明会（青森市　水産ビル　14：00～16：00）
１０月　９日（土）	中学生エッセイコンテスト　一次審査（青森市水産ビル）
１０月９・10 日	青森県立保健大学にブース参加（手伝い可能な方は、ＪＩＣＡデスクまで）
１０月１６日（土）	秋募集説明会（八戸市　八戸公民館　14：00～16：00）
	撤収後 16：30 より写真展の第３回実行委員会（公民館向かいのフルーツパーラーにて）
１１月 13・14 日	国際協力写真展（イオン下田イオンホール 10：00～17：00）前日 17：00 より搬入
	ＪＯＣＡ東北ブロック会議（カワヨグリーン牧場　大賀・中村ＯＢが参加予定）
１１月 20・21 日	国際協力写真展（イオンつがる柏イオンホール 10：00～17：00）前日 17：00 より搬入
１２月上旬	ＡＯＣＡ大忘年会（今年は、大鰐周辺での開催を計画中）

行事への多くのＯＢＯＧの参加をお待ちしています。また、一般の方で関心がある方も連絡をお待ちしています。詳細は、JICA 青森デスク（017-735-2249）または大賀会長までお気軽にお問い合わせください。